

食材王国みやぎ「伝え人(びと)」 実施事例紹介

宮城県では、次代を担う子どもたちを対象とし宮城の「食」に関する学習を促進するため、県内の小中学校等へ食材王国みやぎ「伝え人」を派遣する事業を実施しています。ここでは、昨年度開催した講座の様子をご紹介します。

<石巻市立石巻小学校> 講師:東北割烹研究会 13代目会長 及川 健 氏

宮城の郷土料理「おくずがけ」を作る調理実習を行いました。

講師から調理用具の使い方や作業工程についてアドバイス受けながら、材料を切る・白石温麺を茹でる、などといった工程をグループごとに実際に体験。

「おくずがけ」を初めて食べる児童もいて、郷土料理に興味を持つ良い機会となりました。



<塩竈市立塩竈第三小学校> 講師:食育 NPO「おむすび」

米づくりの過程を題材にした紙芝居や、塩竈地域ならではの海産物の説明を交えた資料を使いながら、食育に関する講話を行いました。

「朝ごはんは何を食べてきた？」などといった問いかけを行いながら、受講した小学1年生にも分かりやすい内容の講座となりました。

